

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品名	モノタロウ ピンク石鹸
会社名	株式会社 MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX 番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M190124

推奨用途及び使用上の制限

機械・器具に付着した油汚れ、インク汚れ等の洗浄

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） 区分 3

水生環境有害性（長期間） 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き
[安全対策] 環境への放出を避けること。

[廃棄] 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

眼、皮膚への刺激を生じ、炎症を引き起こすおそれがある。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
水	7732-18-5	-	65~75
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナ トリウム	25155-30-0	3-1884 3-1906 3-1949	< 1.0
脂肪族アルコールエトキシレート	78330-21-9	-	< 1.0
1-アミノ-2-プロパノール	78-96-6	2-323	< 1.0
その他*	-	-	< 32

*：研磨剤など含む

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸が困難であれば、酸素吸入を行い、直ちに医師に診断を受けること。
皮膚に付着した場合	製品が付着した衣服、靴を脱ぎ、直ちに大量の水で肌に触れた部分を洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 製品が付着した衣服、靴は、再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	水で 15~20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	意識がはっきりしている場合は直ちに水で口をすすぐこと。直ちに医師の診断を受けること

予想される急性症状

眼、皮膚への刺激を生じ、炎症を引き起こすおそれがある。

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

一般的な注意として、粉末状物質の場合は、ある条件下では粉じん爆発を起こす可能性がある。燃焼時に一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物等が生成される。

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火活動は防火・防毒服を着用し、風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
消火の際、危険でなければ火災区域から容器をできるだけ広い場所へ移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
応急措置を行う者は防塵マスク、保護衣、手袋を着用し、漏出物に直接接触してはいけない。必要に応じて化学防護眼鏡を着用する。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
下水道、河川及び地下水源への流入を防止すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

こぼしてしまった場合、直ちに注意深く清掃を行い、漏出物を回収して適切な容器に封入して廃棄物として処理をすること。
取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
大量の水で漏出した区域を洗浄し、漏出した区域を換気しておくこと。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。 十分な換気設備を使用すること。 湿気や水濡れに注意して、容器は密封しておくこと。
安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。 粉じんを発生させないようにする。 この製品を取り扱いは、必ず専門の訓練を受け、取り扱い規定を厳守すること。 運搬時には丁寧に積み卸しを行い、包装や容器の損傷を防止する。 内服してはならない。
接触回避 衛生対策	高温、火気 取扱い後は、特に飲食前には手や接触した部分を洗うこと。
保管	
技術的対策	保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。 相応のタイプと数量の消防機材を配備する。 保管区域には漏出の応急措置設備と適切な収納資材を配備すること。
混触禁止物質 保管条件	酸化剤、還元剤等 直射日光を避け、換気の良い場所に保存する。 火元、熱源から遠ざける。 直射日光を避ける。 容器は密閉して湿気を避ける。変質を防止するため長時間の保管は避けること。
容器包装材料	破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

E = 3.0 mg/m³ (遊離けい酸を含有しない場合)

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的指標)

ACGIH TLV-TWA (2017)	3 mg/m ³ (その他の不溶性のレスピラブル粒子) 10 mg/m ³ (その他の不溶性のインハラブル粒子)
ACGIH TLV-STEL (2017)	設定されていない
日本産業衛生学会 (2017)	2 mg/m ³ (第3種粉塵(その他の無機および有機粉塵)、吸入性粉塵) 8 mg/m ³ (第3種粉塵(その他の無機および有機粉塵)、総粉塵)

設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具	粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	必要に応じて、化学防護手袋を着用する
目の保護具	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	赤色粉末
臭い	僅かな柑橘臭
臭いの閾値	情報なし
pH	9～10（25℃、10%）
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	0.5～0.6 g/cm ³
溶解度	水に溶解した場合、沈下する成分がある。
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	高温、火気
混触危険物質	酸化剤、還元剤等
危険有害な分解生成物	燃焼時に一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物等が生成される。

11 有害性情報

製品の有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚への軽微な刺激を起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	眼への刺激を起こす可能性がある。

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 呼吸器への刺激を起こすおそれがある。

成分の有害性情報

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ = 438 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果の記述に、「24 時間適用で「中等度（moderate）の刺激がみられた」、及びウサギを用いた OECD TG 404 に準拠した皮膚刺激性試験の結果の記述に「刺激性を示した」とあることから、4 時間適用試験結果ではないが中等度の刺激性があると報告がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験の結果の記述に、「250 μg 24 時間の適用で重度（severe）の刺激がみられた」「1% 溶液の適用で重度（severe）の刺激がみられた」、及びウサギを用いた OECD TG 405 に準拠した眼刺激性試験の結果の記述に「刺激性を示した」とあることから、強い刺激性があると報告がある。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	「気道を刺激する」との報告がある。

1-アミノ-2-プロパノール

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ = 2,098 mg/kg
急性毒性（経皮）	ウサギ LD ₅₀ = 1,560 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギ皮膚に試験物質を希釈せず 15 分以上適用により壊死を生じ、また、DOT 腐蝕試験の結果から皮膚腐食性ありと報告されている。なお、高濃度溶液（10 g/L）で pH は 11.3（20°C）である。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギ眼に試験物質を希釈せず適用した場合、重度の結膜うっ血、中等度の虹彩発赤、角膜混濁を起こし、角膜の損傷は適用 21 日後にも観察されている。別の試験では腐食性、あるいは重度の刺激性を示し、角膜混濁および白内障に至っている。なお、高濃度溶液（10 g/L）で pH は 11.3（20°C）である。

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム

水生環境急性有害性	藍藻類（ミクロシスティス）96 時間 EC ₅₀ = 0.9 mg/L
水生環境慢性有害性	情報なし

残留性・分解性	BOD = 73%
生体蓄積性	Log Kow = 1.96
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

1-アミノ-2-プロパノール

水生環境急性有害性	藻類 (セネデスマス) 72 時間 EC ₅₀ = 23 mg/L
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (ADR/RID の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送 (IMO の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
IBC コード	該当しない

航空輸送 (ICAO/IATA の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない

副次危険性 該当しない
容器等級 該当しない

国内規制

陸上規制情報 該当しない
海上規制情報 該当しない
海洋汚染物質 該当しない
航空規制情報 該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送の際、包装は万全なものとし、輸送過程で漏出、倒壊、落下のないようにする。輸送途中では、高温、直射日光（長時間）、水ぬれを防止すること。

15 適用法令

化学物質審査規制法	優先評価化学物質 ((アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム (アルキルは炭素数が 10 から 14 までの直鎖アルカンの基に限る。))
海洋汚染防止法	有害液体物質 (Y 類物質) (アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム塩溶液、2-アミノイソプロピルアルコール)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項 ((炭化水素のスルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (ハロゲン化してあるかないかを問わない。))

16 その他の情報

参考文献

株式会社 MonotaRO 提供資料
NITE GHS 分類結果一覧 (2018)
日本産業衛生学会 (2017) 許容濃度等の勧告
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2017) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。